

「おがの発大人の学校」2年間の軌跡

～立場を超えて学び合い・活動が生まれる拠点作りを目指して～

読書会～『拡張する学校』について、学びを深め合う～

話題提供：宇佐川拓郎さん

小鹿野町地域おこし協力隊／おがの発大人の学校代表

■ 日時 ■

2023年3月18日（土）13:30-15:30（最大16時まで）

※プレ企画第2弾のみのご参加も、大歓迎です。

■ 会場 ■

オンライン開催（Zoom）

お申し込みはこちらから：<https://x.gd/gVhRW>



参加費無料・非会員も参加歓迎

事前申し込みが必要です



「大人の学校」の実践上の特徴の1つが、立場を超えた交流や双方向の学び合いの場の創出である。そのため、希望者で事前に「協働学習の活動理論」にまつわる書籍の読書会を行いたい。

指定書籍：『拡張する学校 協働学習の活動理論』（山住勝広著、東京大学出版会、2017年）

現在の実践は、手探りの中行ってきたが、理論的な支えとなってくれそうな学習理論と出会った。それが、ロシアの心理学者のヴィゴツキーから着想を得て、フィンランドの教育学者エンゲストロームが提示した「拡張的学習」という考え方である。本書は、当学会第9回年次大会にもご登壇予定の山住勝広さんが、そうした考え方を軸に、日本や海外の教育実践の事例紹介も含めながら、「協働学習の活動理論」についてまとめられた書籍である。本書を通じて、「協働学習の活動理論」を学ぶことを通じて、「学びや教育」がこの先世界の中で果たし得る役割や可能性について、学びを深め合ってみたい。（※尚、全て読んでおらずとも、ご参加可能です。要点を初めにご紹介させていただきたいと思います。）



宇佐川拓郎さん：埼玉県秩父郡小鹿野町にて地域おこし協力隊を担う。小学校教員の経験と、デンマークのフォルケホイスコーレへの留学経験を混ぜながら、人育ちと町づくりが同時に行われるような『大人の学校』の運営に取り組んでいる。「おがの発大人の学校」代表。 https://youtu.be/j_FTC2eH4W0

